| 関策 関議 単位の種別と単位数 学修単位: 2 別象学年 専2 別等 | 科目番号 | - | 0007 | | 科目区分 | 専門/選択 | 1 | | |
|--|-------------|-------------------|---|--|---|--|--|--|--|
| ### ### ### ### ### ### ### ### ### ## | | | | | | | | | |
| 新田東 | | | _ | 学専攻 | | 専2 | : | | |
| 当日 | 開設期 | | 後期 | | 週時間数 | 2 | | | |
| 計画 | | 材 | Simply | y Nutrition (Peter Vincent, Kiyoshi Go | otow, Naoko Nakazato | kazato, 南雲堂) | | | |
| (1) 生体系配成がである機 クンパク質 問題、終極の構成現業および料産、性質が影明できること。 (2) 関ラックの与音楽の対象側については、その開発を考えてどができること。 (3) 目室の信品が失き成分を直接でき、健康と現在の食生差を開達付けることができること。 レーブリック 理想的な到達レベルの目安 準率のと野洋環についる場所である。 大利達レベルの目安 4種のと体分子の化学性質について現る情報である。 大利達レベルの目安 4種のと体分子の化学性質について現る情報である。 クリー・アシー 1 世帯の生体分子の化学性質について現る情報である。 クリー・アシー 1 世帯の生体分子の化学性質について現る情報である。 クリー・アシー 1 世帯の生体分子の化学性質について現る情報である。 クリー・アシー 1 世帯の生体分子のの代表が変別でき、、は、核後、イモの主義の生物の構造が多別でき、は、核様の主義の構造が含むの構造が、関ラできること。 アシー 1 世帯の生体分子の保護が表別でき、は、核様の主義を制度が表別でき、は、様々の特殊がある。 アシー 2 世界の生体分を受けている。 1 日常の食品の栄養成分を受けできる。 2 かできること かてきること かてきること かてきること かてきること かてきること かってきること かってきる 2 世界の音楽を表明について、生化学的・分子生物学的な視点で数段する。 国 2 世界の主義の主義の大会 2 世界の主義の大会 2 世界の主義の主義の大会 2 世界の主義の大会 2 世界の主義の主義の大の大会 3 世界のよりに対して表別 2 世界を表していて表別することができる。 1 世界との 中間まとめ 中間まとめ 中間まとめ 中間まとが 2 世界の主義に対して対して記念 2 世界の主義に対して対して記念 2 世界の主義に対して対して記念 2 世界の主義に対して対した 2 世界の主義に対していた 2 世界の主義に対して対してきる。 1 世界との 1 世界とのと 2 世界の主義に対していた 2 世界の主義に対していた 2 世界の主義に対していることができる。 1 世界との 中間まとめ 1 世界を必ずとして記念 2 世界の主義に対して対している。 1 世界の主義に対して対しましたができる。 1 世界の主義に対して対してきることができる。 1 世界の主義に対して対しまれたがアンバク質 1 アシー 2 世界の主義に対して対しまれたがアンバク質 1 アシー 2 世界の主義に対して対しまれたがアンバク質 1 アシー 2 世界の主義に対して対しまれたがアンバク質 1 アシー 2 世界の主義に対して対しまれたがアンドクラー・1 世界の主義に対して対しまれたがアンドできる。 2 世界の主義に対して対しまれたがアンドできる。 2 世界の主義に対して対しまれたがアンドできる。 2 世界の主義に対して対しまれたがアンドできる。 2 世界の主義に対して対しまれたがアンドできる。 2 世界の主義に対して対しまれたがアンドできる。 2 世界の主義に対していることができる。 2 世界の主義に対していることができる。 2 世界の主義に対しまれためでは対していることができる。 2 世界の主義に対しまれたがアンドでは対しま | 旦当教員 | | 三留 規 | 見誉 | | | | | |
| (3) 目界の食品の栄養成分を意識でき、健康と既在の食生物を物連付けることができること。 レーブリック 理想的な製造レベルの目安 非難にレベルの目安 非難にレベルの目安 非難にレベルの目安 非難にレベルの目安 非難にレベルの目安 非難にレベルの目安 非難にしている。 の構造を書くことができ、揺、核 施 服資は 特別の生体分子の化学性質につい、 で | | | | | | | | | |
| 理想の生かた子の化学性質について現場においた。 根理物の生物に大きの情報の生物に大きのように対していた。 作用の自己 (世界の生からな物質の名称を実践で含えられた) で理解している。 (世界の生物が表現を実践で含えられた) で理解している。 (世界の生物が表現が表面とどをいい) で理解している。 (世界の生物が表現が表面とどをいい) では、 (世界の生物が表現が表面とどをいい) では、 (世界の生物が表面となどをいい) では、 (世界の生物が表面となどをいい) では、 (世界の生物が表面となどをいい) では、 (世界の生物が表面となどをいい) では、 (世界の生物が表面となどをいい) では、 (世界の生物が表面となどをいい) では、 (世界の生物が表面とない) では、 (世界の生物が表面とない) では、 (世界の生物が表面とない) ができること。 (世界の生物が表面とない) ができること。 (世界の生物が表面とない) ができること。 (世界の生物が生物があることをでは、 (世界の生物が表面とない) ができること。 (世界の生物が生物があることをでは、 (世界の生物が生物が表面とない) ができること。 (世界の生物が生物が表面とない) ができること。 (世界の生物が生物が表面とない) ができること。 (世界の生物が生物が表面にない) ができること。 (世界の生物が生物が表面にない) (世界の生物が生物が表面にない) (世界の生物が生物が表面にない) (世界の生物が生物が生物が生物が生物が生物が生物が生物が生物が生物が生物が生物が生物が生 | (3)日 | 常の食品の | である糖、 後、脂肪酸な 栄養成分を | タンパク質、脂質、核酸の構成要素およさ どのうち基本的な物質については、その 意識でき、健康と現在の食生活を関連付 | び構造、性質が説明でき 構造を書くことができる けることができること。 | ること。 ること。 | | | |
| 平価項目1 | <u>レーブ!</u> | リック | | | 1 | | 1 | | |
| 「世線しており、それぞれの代表 | | | | | 標準的な到達レベルの | 目安 | 未到達レベルの目安 | | |
| 中価項目2 の構造を書くことができ、態、核、核酸、脂質は アミノ酸、雑、核酸、そでした。 | 平価項目: | 1 | | て理解しており、それぞれの代表 的な物質の名称を英語で答えられ る。 | て理解している。 | | 生体分子に糖、タンパク質、脂質、核酸の4種類があることを知られている。 | | |
| 平面項目3 明でき、健康と食生活を関連付け | 平価項目: | 2 | | の構造を書くことができ、糖、核 酸、脂質は代表的なものの構造が | が区別でき、、糖、核 | 酸、脂質は | アミノ酸、糖、核酸、そして脂質 の基本的な構造が書けない。 | | |
| MSEE (は) (4) (b) ① 数育方法等 | 平価項目: | 3 | | 明でき、健康と食生活を関連付け | 、健康と食生活を関連 | | 日常の食品の栄養成分を説明できない。あるいは、健康と食生活を 関連付けることができない。 | | |
| 数理 大間の存在の基礎は食生活にある。健康を保持し、増進してゆくために、食物摂取の量・バランスが鍵となる。実食生活が糖尿病やメタボリック症候群といった生活習慣病の発症に大きく関与していることも明らかになっている。 | | | 項目との | 関係 | | | | | |
| 教育方法等 人間の存在の基礎は食生活にある。健康を保持し、増進してゆくために、食物摂取の量・バランスが鍵となる。実 食生活が糖尿病やメタボリック症候群といった生活習慣病の発症に大きく関与していることも明らかになっている 講義では食物と体との関連、さらには様々な生活習慣病の発症に大きく関与していることも明らかになっている 講義では食物と体との関連、さらには様々な生活習慣病の気症に大きく関与していることも明らかになっている に対応する能力を養うため、この講義は英語で行う。 人間の存在の基礎は食生活にある。急速に進む高齢化社会の中で、健康を保持し、増進してゆくために、飽食の今は食物摂取の量・バランスが鍵となる。本講義では食物と体との関連について、生化学的・分子生物学的な視点で教授の意・バランスが鍵となる。本講義では食物と体との関連について、生化学的・分子生物学的な視点で変量があった。授業についていくには、十分な予習と復習が必要である。 受業計画 週 授業内容 週 授業内容 週 と中間が表します。食物と生命、食生活の能力が必要である。 受験計画 週 授業内容 週 生体成分 | ABEE (c | d)-(4) | | | | | | | |
| 機関 | | | | | | | | | |
| 週 授業内容 週ごとの到達目標 シラバスの説明をすることができる。食物と生命、食生活の推移と疾病について概説することができる。食物と生命、食生活の推移と疾病について概説することができる。 | | | に対応 | する能力を養うため、この講義は英語で行 | 行う。 | | | | |
| 1週 総論 、食生活の推移と疾病について概説することができる。 生体を構成する元素、分子を説明し、食品との限考える。 3週 炭水化物 | 主意点 | | する。 英語の | | 。受講には、少なくとも | | | | |
| 3개dQ 10回 日本内の方 10回 日本内の方 10回 日本内の方 10回 日本内の方 10回 日本内の方 10回 日本内の 10回 | 主意点 | | する。 英語の た、授 | テキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が | 。受講には、少なくとも が必要である。 | TOEIC4 0 (| | | |
| 3rdQ | 主意点 | | する。 英語の た、授 週 | テキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 | 。受講には、少なくとも が必要である。 週ごの シラグ | STOEIC40(STOEIC40(STOEIC40(STOEIC4 |) 点以上の英語力が必要である。ま | | |
| 5週 炭水化物3 糖の代謝と栄養について説明することができる。 15週 脂質1 混貨の種類と化学的性質および代謝について説明 ことができる。 8週 中間まとめ 中間まとめ 中間まとめとして試験を実施する。 中間まとめとして試験を実施する。 10週 アミノ酸とタンパク質1 アミノ酸の種類と化学的性質およびタンパク質にて説明することができる。 11週 アミノ酸とタンパク質2 アミノ酸の種類と化学的性質およびタンパク質にて説明することができる。 11週 アミノ酸とタンパク質2 アミノ酸の種類と化学的性質およびタンパク質にて説明することができる。 12週 無機質、ビタミン及び水、食物繊維 無機質とビタミン、および水と食物繊維についてれらの働きを説明することができる。 13週 消化と吸収 ヒトの消化と吸収のシステムを説明することができる。 14週 代謝とエネルギー 代謝について概説し生体はどのようにエネルギー 得しているか説明することができる。 15週 まとめ 全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調 | 注意点 | | する。 英語の た、授 週 1週 | テキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 総論 | ,受講には、少なくとも が必要である。 週ご。 シラ、食・ 。 生体 | TOEIC40(上の到達目標 でスの説明を 生活の推移とり を構成する元 |) 点以上の英語力が必要である。ま することができる。食物と生命活動 疾病について概説することができる | | |
| 指質 1 | 主意点 | | する。 英語の た、授 週 1週 2週 | テキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 総論 生体成分 | ,受講には、少なくとも が必要である。 週ご。 シラ、食・ 。 生体 考え。 | TOEIC 4 0 (上の到達目標 「スの説明を 上活の推移とり を構成する元詞 |)点以上の英語力が必要である。ますることができる。食物と生命活動 実病について概説することができる。 素、分子を説明し、食品との関連を | | |
| おり | 注意点 | 画 | する。 英語の た、授 1週 2週 3週 4週 | テキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 総論 生体成分 炭水化物 1 | ・受講には、少なくとも が必要である。 過ご。 シラル、食: 。 生体・ 考え。 各種 | た構成する元記。 を構成する元記。 |)点以上の英語力が必要である。ますることができる。食物と生命活動 疾病について概説することができる。 素、分子を説明し、食品との関連を 性質を説明することができる。 | | |
| 指質2 指質2 指質の種類と化学的性質および代謝について説明ことができる。 お週 中間まとめ 中間まとめとして試験を実施する。 アミノ酸の種類と化学的性質およびタンパク質にて説明することができる。 10週 アミノ酸とタンパク質2 アミノ酸の種類と化学的性質およびタンパク質にて説明することができる。 11週 アミノ酸とタンパク質2 アミノ酸の種類と化学的性質およびタンパク質にて説明することができる。 12週 無機質、ビタミン及び水、食物繊維 無機質とビタミン、および水と食物繊維についてれらの働きを説明することができる。 13週 消化と吸収 上トの消化と吸収のシステムを説明することができる。 上トの消化と吸収のシステムを説明することができる。 七十の消化と吸収のシステムを説明することができる。 七十の消化と吸収のシステムを説明することができる。 13週 代謝とエネルギー 代謝について概説し生体はどのようにエネルギー 代謝について概説し生体はどのようにエネルギー 日本とめ 日本とめ 日本とめ 日本とめ 日本とのようにエネルギー 日本とめ 日本とり 日本の 日本とり 日本に対しまする 日本とり 日本 | 主意点 | 画 | する。 英語の た、授 1週 2週 3週 4週 | テキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 総論 生体成分 炭水化物 1 炭水化物 2 | ・受講には、少なくとも が必要である。 過ご。 シラ/、、食: 。 生体 考え: 各種/ 糖の(糖の(| との到達目標 (スの説明を 注活の推移と を構成する元詞 を構成する元詞 も対し、 は対と栄養に 大謝と栄養に |) 点以上の英語力が必要である。ますることができる。食物と生命活動 疾病について概説することができる。 素、分子を説明し、食品との関連を 性質を説明することができる。 ついて説明することができる。 | | |
| 検期 中間まとめ 中間まとめとして試験を実施する。 9週 アミノ酸とタンパク質1 アミノ酸の種類と化学的性質およびタンパク質にて説明することができる。 10週 アミノ酸とタンパク質2 アミノ酸の種類と化学的性質およびタンパク質にて説明することができる。 11週 アミノ酸とタンパク質2 アミノ酸の種類と化学的性質およびタンパク質にて説明することができる。 12週 無機質、ビタミン及び水、食物繊維 無機質とビタミン、および水と食物繊維についてれらの働きを説明することができる。 13週 消化と吸収 ヒトの消化と吸収のシステムを説明することができる。 14週 代謝について概説し生体はどのようにエネルギー得しているか説明することができる。 15週 まとめ 全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調 | 主意点 | 画 | する。 英語の た、授 週 1週 2週 3週 4週 5週 | デキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 総論 生体成分 炭水化物 1 炭水化物 2 炭水化物 3 | 受講には、少なくともが必要である。 週ごのシラグ、食・ 生体考える 各種料糖の付 糖の付 糖の付 脂質の | たの到達目標でスの説明を持ている。 との到達目標で、スの説明を持ての推移と対象を構成する元記。 を構成する元記。 を構成する元記。 を構成する元記。 を構成する元記。 を構成する元記。 を構成する元記。 を構成する元記。 を構成する元記。 |) 点以上の英語力が必要である。ますることができる。食物と生命活動 疾病について概説することができる。 素、分子を説明し、食品との関連を 性質を説明することができる。 ついて説明することができる。 | | |
| 10週 アミノ酸とタンパク質 2 T説明することができる。 | 主意点 | 画 | する。 英語授 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 | テキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 総論 生体成分 炭水化物 1 炭水化物 2 炭水化物 3 | ・受講には、少なくともが必要である。過ごのシラブ、食べい。生体・考える各種材糖の付糖の付脂質のことが脂質のとことが | たの到達目標である。 に対している。 た構成する元素を持ている。 を構成する元素を構成する元素を構成する元素を構成する元素を表する。 を構成する元素を構成する元素を構成する元素を表する。 でもなったできる。 の種類と化学による。 の種類と化学による。 |) 点以上の英語力が必要である。ますることができる。食物と生命活動 疾病について概説することができる。 素、分子を説明し、食品との関連を 性質を説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 か性質および代謝について説明する | | |
| 4thQ T説明することができる。 11週 アミノ酸とタンパク質 2 12週 無機質、ビタミン及び水、食物繊維 13週 消化と吸収 14週 代謝とエネルギー 15週 まとめ 15週 まとめ これできる。 これができる。 これができる。 ことができる。 ことができる。 代謝について概説し生体はどのようにエネルギー得しているか説明することができる。 全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調 | 主意点 | 画 | する。 英語 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 | デキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 総論 生体成分 炭水化物 1 炭水化物 2 炭水化物 3 脂質 1 | ・受講には、少なくとも が必要である。 週ご。 シラル、。 生体、 考え。 各種/ 糖の(糖の(脂の(脂質(こと) 脂質(こと) | たの到達目標である。 を構成する元記を構成する元記を構成する元記を構成する元記を構成する元記を構成する元記を構成する元記を構成する元記を構成する元記を構成する元記を構成する元記を構成する。 |) 点以上の英語力が必要である。ますることができる。食物と生命活動 疾病について概説することができる。 素、分子を説明し、食品との関連を 性質を説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 的性質および代謝について説明する。 的性質および代謝について説明する | | |
| 4thQ 11週 アミノ酸とタフハク員 2 て説明することができる。 12週 無機質、ビタミン及び水、食物繊維 無機質とビタミン、および水と食物繊維についてれらの働きを説明することができる。 13週 消化と吸収 ヒトの消化と吸収のシステムを説明することができる。 14週 代謝とエネルギー 代謝について概説し生体はどのようにエネルギー得しているか説明することができる。 15週 まとめ 全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調 | 主意点 | 画 | する。 英語、 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 | デキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 総論 生体成分 炭水化物 1 炭水化物 2 炭水化物 3 脂質 1 脂質 2 中間まとめ | ・受講には、少なくともが必要である。過ごのシラグスを生体える各種材糖のが糖のが糖のが脂質のことが中間アミ・ | は に に に に に に に に に に に に に |) 点以上の英語力が必要である。ますることができる。食物と生命活動 疾病について概説することができる。 素、分子を説明し、食品との関連を 性質を説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 的性質および代謝について説明する。 的性質および代謝について説明する。 は験を実施する。 化学的性質およびタンパク質について | | |
| 4thQ 12週 無機員、ビタミン及びが、良物戦権 れらの働きを説明することができる。 13週 消化と吸収 ヒトの消化と吸収のシステムを説明することができる。 14週 代謝とエネルギー 代謝について概説し生体はどのようにエネルギー得しているか説明することができる。 15週 まとめ 全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調 | 主意点 | 画 | する。 英語、 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 | テキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 総論 生体成分 炭水化物 1 炭水化物 2 炭水化物 3 脂質 1 脂質 2 中間まとめ アミノ酸とタンパク質 1 | ・受講には、少なくともが必要である。過ごのシラクスを生体える各種が問題を糖のが糖のが糖のが糖のが糖のが糖のがおしてアこ説のアこ記のアここの | は に に に に に に に に に に に に に | の点以上の英語力が必要である。ますることができる。食物と生命活動 することができる。食物と生命活動 疾病について概説することができる。 素、分子を説明し、食品との関連を 性質を説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 か性質および代謝について説明する。 か性質および代謝について説明する。 が性質および代謝について説明する。 に学的性質およびタンパク質について できる。 | | |
| 13週 消化と吸収 ヒトの消化と吸収のシステムを説明することができ 14週 代謝とエネルギー 代謝について概説し生体はどのようにエネルギー (代謝について概説し生体はどのようにエネルギー 得しているか説明することができる。 全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調 | 主意点 | 画 | する。 方表: 週 | テキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 総論 生体成分 炭水化物 1 炭水化物 2 炭水化物 3 脂質 1 脂質 2 中間まとめ アミノ酸とタンパク質 1 アミノ酸とタンパク質 2 | ・ 受講には、少なくともが必要である。 過ご・シ、。 生本える 各種 糖のの 脂こ質との 中間: アこ説: アミ | TOEIC 4 0 0 ETOEIC 4 0 ETOEIC | の点以上の英語力が必要である。ますることができる。食物と生命活動 することができる。食物と生命活動 疾病について概説することができる。 素、分子を説明し、食品との関連を 性質を説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 か性質および代謝について説明する。 か性質および代謝について説明する。 か性質および代謝について説明する。 に学的性質およびタンパク質についてきる。 化学的性質およびタンパク質についてきる。 | | |
| 14週代謝とエネルギー代謝について概説し生体はどのようにエネルギー 得しているか説明することができる。15週まとめ全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調 | 主意点 | 画 3rdQ | する。 一方 | テキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 総論 生体成分 炭水化物 1 炭水化物 2 炭水化物 3 脂質 1 脂質 2 中間まとめ アミノ酸とタンパク質 1 アミノ酸とタンパク質 2 アミノ酸とタンパク質 2 | ・ 受講には、少なくともが必要である。 週ごう食・ ・ 生考を種 糖の質と質と質とで 中日: アて説 アて説 大き 大き ・ 大き <td>TOEIC 4 0 0 L</td> <td>の点以上の英語力が必要である。ますることができる。食物と生命活動 することができる。食物と生命活動 疾病について概説することができる。 素、分子を説明し、食品との関連を 性質を説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 か性質および代謝について説明する。 的性質および代謝について説明する。 に学的性質およびタンパク質についてきる。 化学的性質およびタンパク質についてきる。 化学的性質およびタンパク質についてきる。 に学的性質およびタンパク質についてきる。 に学的性質およびタンパク質についてきる。</td> | TOEIC 4 0 0 L | の点以上の英語力が必要である。ますることができる。食物と生命活動 することができる。食物と生命活動 疾病について概説することができる。 素、分子を説明し、食品との関連を 性質を説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 か性質および代謝について説明する。 的性質および代謝について説明する。 に学的性質およびタンパク質についてきる。 化学的性質およびタンパク質についてきる。 化学的性質およびタンパク質についてきる。 に学的性質およびタンパク質についてきる。 に学的性質およびタンパク質についてきる。 | | |
| 15週 まとめ 全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調 | 主意点 | 画 3rdQ | する。 一次 | テキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 総論 生体成分 炭水化物 1 炭水化物 2 炭水化物 3 脂質 1 脂質 2 中間まとめ アミノ酸とタンパク質 1 アミノ酸とタンパク質 2 アミノ酸とタンパク質 2 アミノ酸とタンパク質 2 無機質、ビタミン及び水、食物繊維 | ・ 受講には、少なくともが必要である。 週こう食: シ、。 生考 種 糖の質と質と質と中間: アて説: アて説: 無機らいといる 上へ | TOEIC 4 0 0 で | の点以上の英語力が必要である。ますることができる。食物と生命活動 することができる。食物と生命活動 疾病について概説することができる。 素、分子を説明し、食品との関連を 性質を説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 の性質および代謝について説明する。 的性質および代謝について説明する。 と学的性質およびタンパク質についてきる。 化学的性質およびタンパク質についてきる。 化学的性質およびタンパク質についてきる。 化学的性質およびタンパク質についてきる。 のきることができる。 のシステムを説明することができる。 | | |
| I 11555 | 主意点 | 画 3rdQ | する。 方表: 週 | テキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 総論 生体成分 炭水化物 1 炭水化物 2 炭水化物 3 脂質 1 脂質 2 中間まとめ アミノ酸とタンパク質 1 アミノ酸とタンパク質 2 アミノ酸とタンパク質 2 無機質、ビタミン及び水、食物繊維 消化と吸収 | ・ 受講には、少なくともが必要である。 週 うくともが必要である。 週 うくとも考える 生考え種 糖の価値と質と質と問じます。 中日: アて説に下て説に変した。 大きに表している。 大きによった。 アンドル・ アンドル・ 大きによった。 アンドル・ 大きによった。 アンドル・ | TOEIC 4 0 0 位 | の点以上の英語力が必要である。ますることができる。食物と生命活動を実病について概説することができる。 素、分子を説明し、食品との関連を 素、分子を説明し、食品との関連を 素、分子を説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 や性質および代謝について説明する。 や性質および代謝について説明する。 できる。 化学的性質およびタンパク質についてきる。 化学的性質およびタンパク質についてきる。 化学的性質およびタンパク質についてきる。 のと実施する。 とないできる。 のシステムを説明することができる。 のシステムを説明することができる。 し生体はどのようにエネルギーを独 | | |
| 16週 | 注意点 | 画 3rdQ | すまた。 のでである。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 | テキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 総論 生体成分 炭水化物 1 炭水化物 2 炭水化物 3 脂質 1 脂質 2 中間まとめ アミノ酸とタンパク質 1 アミノ酸とタンパク質 2 アミノ酸とタンパク質 2 アミノ酸とタンパク質 2 無機質、ビタミン及び水、食物繊維 消化と吸収 代謝とエネルギー | 要講には、少なくとも 過シ、。 生考種 糖の付 脂こ脂こ 明の質と質と質と問 アてアこ説 三説 無格らし、 大り、 (代得) 全体 | TOEIC 4 0 0 位 で | の点以上の英語力が必要である。ますることができる。食物と生命活動を実病について概説することができる。 素、分子を説明し、食品との関連を整質を説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 や性質および代謝について説明する。 や性質および代謝について説明する。 と変も性質およびタンパク質についてきる。 化学的性質およびタンパク質についてきる。 化学的性質およびタンパク質についてきる。 となが水と食物繊維について、できる。 のシステムを説明することができる。 のシステムを説明することができる。 し生体はどのようにエネルギーを独することができる。 | | |
| 7.77 17.77 1.7737 THE THE TOTAL THE TOTAL TRANSPORT | 意点 | 画 3rdQ 4thQ | すまた。 | テキスト、英語での講義で授業を進める。 業についていくには、十分な予習と復習が 授業内容 総論 生体成分 炭水化物 1 炭水化物 2 炭水化物 3 脂質 1 脂質 2 中間まとめ アミノ酸とタンパク質 1 アミノ酸とタンパク質 2 アミノ酸とタンパク質 2 アミノ酸とタンパク質 2 無機質、ビタミン及び水、食物繊維 消化と吸収 代謝とエネルギー | 要講には、少なくとも 過シ、。 生考種 糖の付 脂こ脂こ 明の質と質と質と問 アてアこ説 三説 無格らし、 大り、 (代得) 全体 | TOEIC 4 0 0 位 で | の点以上の英語力が必要である。 することができる。食物と生命活 疾病について概説することができる。 素、分子を説明し、食品との関連 性質を説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 ついて説明することができる。 か性質および代謝について説明す が性質および代謝について説明す は験を実施する。 化学的性質およびタンパク質についてきる。 化学的性質およびタンパク質についてきる。 化学的性質およびタンパク質についましていできる。 のシステムを説明することができる。 のシステムを説明することができる。 し生体はどのようにエネルギーをすることができる。 | | |

評価割合

| | 中間試験 | 期末試験 | 小テスト | 態度 | ポートフォリオ | その他 | 合計 |
|---------|------|------|------|----|---------|-----|-----|
| 総合評価割合 | 40 | 40 | 20 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 基礎的能力 | 0 | 0 | 20 | 0 | 0 | 0 | 20 |
| 専門的能力 | 40 | 40 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |